

# 東村山市公共施設再生計画 基本計画



東村山市公式キャラクター ひがっしー

平成 27 年 6 月  
東 村 山 市



## はじめに

わが国では、高度経済成長期の急激な人口増加や社会環境の変化に対応するため、多くの公共施設が建設されてまいりました。

これらの公共施設は建設から30年以上経過し、現在は老朽化に伴い安全性や機能性など様々な面で多くの問題を抱えるようになっていきます。

これらの施設は近い将来、一斉に更新時期を迎えますが、建替え等に巨額の費用が必要となることから、今ある公共施設すべてを今まで通りに維持していくことは、もはや不可能な状況であると言っても過言ではありません。また、経済も低成長期に移行し、少子高齢化、人口減少が社会のトレンドとなる中、公共施設のあり方そのものも、今一度見直すことが求められています。

昭和40年代から50年代にかけて、小中学校などの多くの公共施設を建設してきた東村山市におきましても、全国で顕在化してきた「公共施設の更新問題」への対応を迫られています。

「公共施設の更新問題」に適確に対応するため、市では「公共施設再生計画基本方針」を策定し、公共施設（ハコモノ）の見直しの方向性や今後進めていくべき対応策についての基本的な考え方をまとめ、これを着実に推進していくための「公共施設再生計画基本計画」をこのたび策定しました。

ともすれば悲観的に捉えがちなこの問題を逆に新たなまちづくりの好機として捉え、施設にかかるコストの削減と公的なサービスレベルの向上を両立させるために、今何をすべきなのか、今後どのように進めるべきなのか、市民の皆様と行政が協力・連携し、その中から方向性を見つけていくことが必要であると考えております。

市では、将来世代に負担を残さないため、より良いサービスのあり方やより良い公共施設のあり方を検討し、全庁をあげて本計画を推進してまいりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本計画策定に当たり貴重なご意見をいただきました公共施設再生計画基本計画検討協議会の委員の皆様、公共施設再生市民ワークショップにご参加いただいた皆様、ご指導ご協力をいただいた議会並びに市民の皆様に深く感謝申し上げます。

平成27年6月

東村山市長  
渡部 尚



# 目次

第一部 背景と目的.....	1
1. 公共施設再生計画基本計画策定の目的と経緯.....	1
(1) 背景と目的.....	1
(2) 公共施設の再生に向けた取り組みの経緯.....	2
2. 公共施設を取り巻く現状と課題.....	3
(1) 市の概況.....	3
(2) 公共施設の現状.....	6
(3) 大規模修繕及び建替えにかかる将来費用.....	8
(4) 市民意識.....	9
第二部 公共施設再生計画の位置づけと考え方.....	11
1. 公共施設再生計画の位置づけ.....	11
(1) 公共施設再生計画の位置づけ.....	11
(2) 対象施設.....	12
(3) 計画期間.....	13
2. 公共施設再生計画の考え方.....	14
(1) 理念と方針.....	14
(2) 公共施設再生の取り組み方策適用の考え方.....	20
3. 施設分類別の再生の方向性.....	34
(1) 行政施設.....	34
(2) 生涯学習施設.....	37
(3) コミュニティ施設.....	39
(4) スポーツ・文化施設.....	41
(5) 福祉施設.....	43
(6) 子育て支援施設.....	46
(7) 学校教育施設.....	50
(8) 市営住宅.....	51
(9) 環境施設.....	52
(10) 消防施設.....	54
(11) その他施設.....	54
4. 公共施設再生計画の推進.....	55
(1) 庁内推進体制.....	55
(2) 計画の進行管理.....	57

(3) 市民や民間事業者との連携.....	58
(4) ロードマップ.....	59
<b>資料編</b> .....	<b>62</b>
(1) 公共施設再生計画の策定過程 .....	62
(2) 委員名簿.....	65
(3) 公共施設再生市民ワークショップ概要.....	67
(4) 施設一覧（公共施設白書より） .....	73
(5) 主な公共施設配置 .....	78

※本計画書で用いている数値は、端数処理により積み上げ数値と合計値が一致しないこと等があります。